

平成 27 年度 第 2 回海老名市子ども・子育て会議 次第

日 時 平成 27 年 12 月 17 日 (木)

午前 10 時から

場 所 海老名市役所議員全員協議会室

1 開 会

2 福祉事務所長あいさつ

3 議 題

(1) えびな待機児童解消プランの策定について

(2) 平成 28 年度における特定教育・保育施設の定員設定について

(3) 子育て応援宣言の策定について

(4) その他

4 閉 会

海老名市子ども・子育て支援事業計画
個別計画

えびな待機児童解消プラン

平成27年11月27日策定

1 プラン策定目的

子ども・子育て支援事業計画では、国が示した「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込」の算出等のための手引き」に基づき、海老名市の保育施設の目標事業量を定めました。

しかしながら、ここで求めた算出量と平成 27 年 4 月 1 日の実績に基づく 10 月 1 日の必要見込量とを比較すると大きな差異が生じております。

このようなことから、実態に併せた待機児童の解消プランを策定します。

本プランでは、市の懸案事項である待機児童問題を積極的に対応すべく、保育需要のピークとなる平成 31 年度までの計画を策定することとしています。

2 プランと子ども・子育て支援事業計画との関係

子ども・子育て支援事業計画は、国が示した手法であるニーズ調査からの算出に基づき、事業量を算出した上で計画を策定しているため、当計画は理想形を表した計画となっています。

一方、今回策定するプランは、実態を見据えた上で、保育需要のピークとなる平成 31 年度に向けた計画とします。

いずれにしろ、今後の保育所整備は本プランに基づき進めていきますが、子ども・子育て支援事業計画は策定後間もないことから、現時点での見直しは行わず、平成 27 年度終了時点で行う評価・点検を踏まえた上で見直すことといたします。

3 幼児の人口推計

子ども・子育て支援事業計画では、第四次総合計画の人口推計を使用しましたが、その後、市では「公共施設白書」で最新の人口推計を算出しているため、本プランでは公共施設白書の人口推計を用いることとします。

この中で幼児人口の推計は、今後 5 年程度は平成 27 年とほぼ横ばいで推移し、平成 31 年をピークにその後は微減傾向となり、約 30 年後は平成 27 年対比で 13%程度減少する結果となっています。

◆人口推計結果

(海老名市公共施設白書より)

	H27	H28	H29	H30	H31	H35	H45	H55
5 歳	1,235	1,236	1,165	1,131	1,210	1,185	1,048	1,016
4 歳	1,221	1,151	1,119	1,197	1,197	1,170	1,036	1,012
3 歳	1,141	1,110	1,187	1,186	1,188	1,149	1,026	1,013
2 歳	1,101	1,175	1,173	1,174	1,169	1,127	1,017	1,010
1 歳	1,157	1,155	1,157	1,155	1,151	1,101	1,011	1,005
0 歳	1,132	1,137	1,136	1,131	1,124	1,078	1,001	1,001
0～5 歳合計	6,987	6,964	6,937	6,974	7,039	6,810	6,139	6,057

4 保育所の状況

現在、市内にある認可保育所は公立保育所が 6 園、私立保育所が 13 園の合計 19 園、認可保育所に移行予定の認可外保育施設が 2 施設、小規模保育施設が 1 園となっています。また、認可保育所の定員については、公立保育所が 530 人、私立保育所が 1,040 人の合計 1,570 人であり、平成 27 年 4 月現在、認可保育所に在籍する園児は 1,575 人となっています。また、認可保育所に認可予定の認可外保育施設に在籍する園児は 55 人、小規模保育施設に在籍する園児は 14 人となっています。

◆海老名市内の認可保育所

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

		名称	地域	設立年	定員	在籍数
公立	1	柏ヶ谷保育園	北部	1971 年	120 人	115 人
	2	門沢橋保育園	南部	1972 年	60 人	64 人
	3	下今泉保育園	中央	1973 年	90 人	78 人
	4	中新田保育園 (既存棟)	中央	1975 年	90 人	100 人
		中新田保育園 (ぴよぴよ棟)	中央	2012 年	50 人	35 人
	5	勝瀬保育園	中央	1978 年	60 人	58 人
6	上河内保育園	南部	2014 年	60 人	59 人	
私立	1	たちばな保育園	中央	1967 年	120 人	126 人
	2	さがみ愛子園	中央	1956 年	120 人	130 人
	3	ふたば愛子園	北部	1958 年	180 人	150 人
	4	つちのこ保育園	南部	2004 年	60 人	73 人
	5	保育所すこやかハウス	中央	2007 年	60 人	71 人
	6	かしわ台あおぞら保育園	北部	2008 年	60 人	71 人
	7	さくらい保育園	北部	2009 年	60 人	70 人

8	虹の子保育園	中央	2010年	60人	66人
9	虹の子保育園分園	中央	2010年	30人	31人
10	にんじん村保育園	北部	2011年	60人	65人
11	小田急ムック海老名園	中央	2014年	50人	47人
12	社家ゆめいろ保育園	南部	2014年	60人	67人
13	えびなの風保育園	中央	2015年	120人	99人

◆海老名市内の認可保育所に移行予定の認可外保育施設（平成27年4月1日現在）

	名称	地域	設立年	定員	在籍数
1	ひよこ保育園	中央	2001年	40人	36人
2	おひさま保育園	北部	2009年	20人	19人

◆海老名市内の小規模保育施設（平成27年4月1日現在）

	名称	地域	設立年	定員	在籍数
1	にこにこ保育園	北部	2015年	19人	14人

5 子ども・子育て支援事業計画における目標事業量と実績との比較

子ども・子育て支援事業計画における平成27年度の目標事業量と、平成27年4月1日現在の実績、平成27年10月1日の必要見込量とを比較すると次のとおりとなります。

0歳児の必要見込量は計画の約6割、1・2歳児の実績は計画の3/4程度と、相当少ない状況でした。このため、目標事業量を現状に即した形で見直す必要があります。

※必要見込量＝平成26年度4月～10月の間の伸び率×平成27年4月1日実績

◆【0歳児】保育施設＋地域型保育事業（3号認定）

	計画	実績 H27.4.1	伸び率 4月～10月	必要見込量 H27.10.1	比較 見込量－計画
量の見込み	284人	114人	1.46	166人	△118人

◆【1・2歳児】保育施設＋地域型保育事業（3号認定）

	計画	実績 H27.4.1	伸び率 4月～10月	必要見込量 H27.10.1	比較 見込量－計画
量の見込み	906人	643人	1.07	689人	△217人

◆【3歳～5歳児（就学前）】保育施設（2号認定）

	計画	実績 H27.4.1	伸び率 4月～10月	必要見込量 H27.10.1	比較 見込量－計画
量の見込み	834人	979人	1.02	998人	164人

6 プランによる目標事業量の設定と不足量の算出

本プランを策定するにあたり、あらためて、平成 27 年 4 月実績をもとに目標事業量を算出します。

なお、4 月は待機児童が一番少ない時期にあたるので、平成 26 年度における 4 月から 10 月にかけての伸び率を平成 27 年 4 月実績に乗じた値を、平成 27 年度の目標事業量として設定します。平成 28 年度以降については、平成 27 年度目標事業量に人口推計結果を乗じて設定します。

この目標事業量と、平成 27 年 4 月 1 日現在の定員とを比較すると、各年において不足する整備量は下記のとおりとなります。

◆【0 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	166	167	167	166	165
施設定員	142	142	142	142	142
不足量	24	25	25	24	23

◆【1・2 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	689	713	712	712	709
施設定員	499	499	499	499	499
不足量	190	214	213	213	210

◆【3 歳～5 歳児（就学前）】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	998	969	965	978	999
施設定員	1,008	1,008	1,008	1,008	1,008
不足量	△10	△39	△43	△30	△9

7 プランによる認可保育所の取り組み

待機児童解消のため、積極的に認可保育所の定員増を図る必要があるため、現在、民間から相談を受けている実現性の高い、次に掲げる案件をプランに位置付けることとします。

- 平成 28 年 : 民間保育園の定員 30 名増
認可外保育施設の認可化 (60 名)
- 平成 29 年 : 民間保育園の新設 (90 名)
- 平成 30 年 : 認可外保育施設の認可化 (60 名)

また、上記の民間保育園による定員増計画を実現しても、1 歳～2 歳児においては、かなりの定員不足が想定されるため、需給調整役である公立保育園が可能な範囲で定員増を図る必要があることから、次に掲げる案件もプランに位置付けます。

- 平成 28 年 : 中新田保育園の増築による定員 60 名増
上河内保育園 (60 名⇔120 名)

【0 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	162	155	143	138	137
施設定員	132	144	150	156	156
不足人数	30	11	△7	△18	△19
確保人数	—	12	6	6	—

【1 歳～2 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	648	671	637	633	630
施設定員	459	535	565	584	584
不足人数	189	136	72	49	46
確保人数	—	76	30	19	—

【3 歳～5 歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	979	945	941	942	963
施設定員	979	1,101	1,155	1,190	1,190
不足人数	0	△156	△214	△248	△227
確保人数	—	122	54	35	—

これにより定員超過の1歳～2歳児についても、平成31年時点で不足人数が施設定員の1割以下になりまので、定員の弾力的運用で対応が可能な範囲になると思われます。

このようなことから、上河内保育園については、施設の有効活用の観点から、平成28年4月から新規入園者の受け入れを開始します。

8 プランによる認可保育所以外の取り組み

前章で整理した認可保育所以外については、基本的に「子ども・子育て支援事業計画」で位置付けた事業を、プランにおいても位置付けます。

ただし、現在の状況を踏まえ、整備量については修正しています。

下記に示した取り組みは、現在のところ実現に向けて不確定要素が大きい部分もありますが、実現が困難な場合は認可保育所の取り組み拡大で補填する必要があります。

① 認定こども園充実事業（保育分のみ）

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	—	6	6
施設定員	—	—	—	6	6
不足人数	—	—	—	0	0
確保人数	—	—	—	6	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	—	18	18
施設定員	—	—	—	18	18
不足人数	—	—	—	0	0
確保人数	—	—	—	18	—

【3歳～5歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	—	36	36
施設定員	—	—	—	36	36
不足人数	—	—	—	0	0
確保人数	—	—	—	36	—

② 小規模保育事業

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	3	10	10	10	10
施設定員	5	10	10	10	10
不足人数	△2	0	0	0	0
確保人数	—	5	—	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	11	28	28	28	28
施設定員	14	28	28	28	28
不足人数	△3	0	0	0	0
確保人数	—	14	—	—	—

③ 家庭的保育事業

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	1	1	1
施設定員	—	—	1	1	1
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	1	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	4	4	4
施設定員	—	—	4	4	4
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	4	—	—

④ 居宅訪問型保育事業

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	5	5	5
施設定員	—	—	5	5	5
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	5	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	5	5	5
施設定員	—	—	5	5	5
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	5	—	—

⑤ 事業所内保育事業

【0歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	6	6	6
施設定員	—	—	6	6	6
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	6	—	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	24	24	24
施設定員	—	—	24	24	24
不足人数	—	—	0	0	0
確保人数	—	—	24	—	—

⑥ 認可外保育事業

【0歳児】

	H27	H28	H29
量の見込み	1	2	2
施設定員	5	2	2
不足人数	△4	0	0
確保人数	—	△3	—

【1歳～2歳児】

	H27	H28	H29
量の見込み	30	14	14
施設定員	26	14	14
不足人数	4	0	0
確保人数	—	△12	—

【3歳～5歳児】

	H27	H28	H29
量の見込み	19	24	24
施設定員	29	24	24
不足人数	△10	0	0
確保人数	—	△5	—

9 まとめ

【待機児童ゼロ達成に向けて】

これまでに整理したように、現在予定している様々な取り組みが実施されると、平成31年には、認可保育所の1・2歳児以外では見込量を定数が充足しています。なお、認可保育所の1・2歳児においても、定数の1割増しで見込量を充足することになります。

このようなことから、平成31年までの可能な限り早い時期の待機児童ゼロを目指し、民間保育園と連携・協力し取り組んでまいります。

【民間保育園の設立支援】

7章では、現在、認可保育所充実事業として予定されている民間保育園の定員増や新設、認可化移行等を定数に参入しているため、実現に向け、しっかりとサポートをする必要があります。ただし、その他の事業については、現在のところ実現性は未知数であるため、今後、新たに民間からの設置等の相談があれば、積極的に対応していく必要があります。

【公立保育園の定員拡大】

7章では、中新田保育園の増築及び上河内保育園の定員増を参入しています。これは、保育需要のピークに併せて、公立保育園として拡大できる部分については、公立の役割である需給調整役の責務を果たすべく取り組むものです。これらの取り組みによる定員増を加味することで、ピークの保育需要に対応できることになるため、中新田保育園の増築及び上河内保育園の定員増は必要不可欠なものであり、しっかりと取り組む必要があります。

【地域性を考慮した保育需要への対応】

プランでは、人口推計をもとに保育需要を算出し、市域全体での保育予定供給量と対比した結果、平成31年までには待機児童ゼロが達成できる見込みとなっています。ただし、海老名駅周辺地区においては、ここ数年、相当な人口増が見込まれるため、保育園の新設を検討します。また、東柏ヶ谷地区については、座間・綾瀬市と近接している地域性を考慮し、広域連携等の検討も必要となります。このように今後も地域ごとの需要把握に努め、保育園の配置検討を進める必要があります。

【将来の公立保育園のあり方】

このプランは、平成31年の保育需要のピークに合わせた待機児童解消計画となっていますが、期間内においても可能な限り待機児童ゼロの前倒しを目指します。また、平成32年以降は保育需要の減少が見込まれています。公立保育園については老朽化が著しい園もあるため、将来にわたる公立保育園のあり方を整理する必要があります。このため、現在進めている「公共施設再編計画」の中で、しっかりと検討してまいります。



平成 28 年度における特定教育・保育施設の定員設定について

1 概 要

特定教育・保育施設及び特定地域型保育施設の利用定員は、市が定めることとなっており、その設定に関しては、子ども・子育て支援法第 77 条の定めにより、子ども・子育て会議の意見を聴くこととなっています。

市内の施設については、新制度施行に合わせ、本年 1 月に開催した会議で定員設定について御審議いただいたところですが、来年度に新設園が見込まれることから、改めて御審議をお願いするものです。

※ 海老名市では、利用定員を認可定員と同一としています。

2 新 設

おひさま保育園

設 置 者：株式会社カスタムメディカル研究所

利用定員：60 名（3 号認定；24 名、2 号認定；36 名）

所 在 地：海老名市柏ヶ谷 586 番地の 3

開所予定日：平成 28 年 4 月 1 日

敷地面積：340.44 m²

延床面積：409.89 m²

構 造：木造 2 階建

※ 3 号認定：0～2 歳児、2 号認定：3～5 歳児

※ 認可外保育施設の認可化に伴うもの

3 定員変更

(1) 上河内保育園

設 置 者：海老名市

利用定員：120 名（3 号認定；37 名、2 号認定；83 名）【現】60 名

所 在 地：海老名市上河内 258 番地の 3

変更予定日：平成 28 年 4 月 1 日

変更理由：新入園児募集開始に伴う受け入れ拡大のため

(2) 社家ゆめいろ保育園

設 置 者：株式会社ステーション

利用定員：90 名（3 号認定；36 名、2 号認定；54 名）【現】60 名

所 在 地：海老名市社家 83 番地

変更予定日：平成 28 年 4 月 1 日

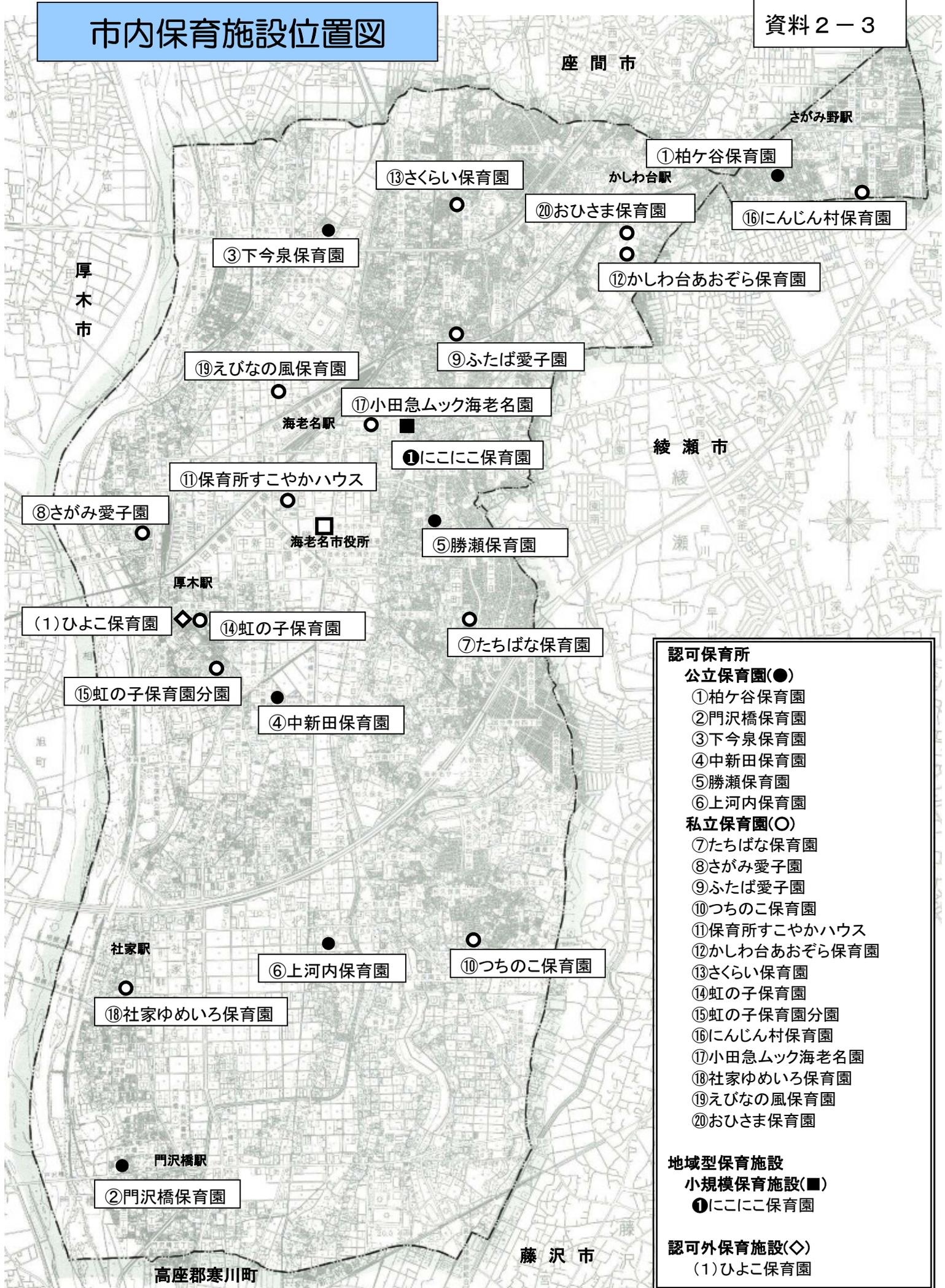
変更理由：増築に伴う受け入れ拡大のため

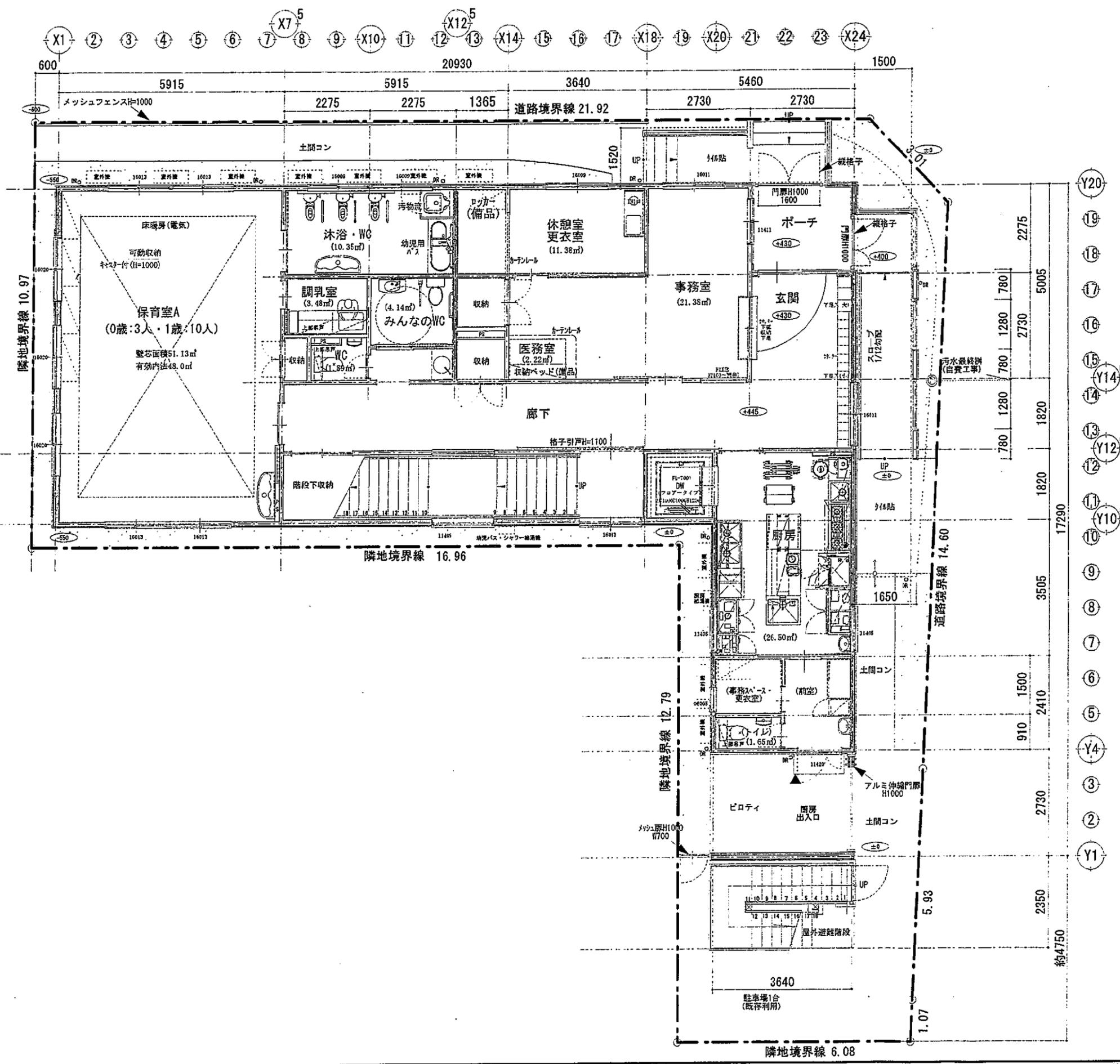
平成28年度における特定教育・保育施設及び
特定地域型保育事業の定員設定について

教育・保育施設			利用定員			計	備考
設置者区分	設置者	施設名称	3号認定	2号認定	1号認定		
特定保育施設							
市町村	海老名市	柏ヶ谷保育園	33	87	0	120	変更なし
市町村	海老名市	門沢橋保育園	24	36	0	60	変更なし
市町村	海老名市	下今泉保育園	32	58	0	90	変更なし
市町村	海老名市	中新田保育園	82	118	0	200	変更なし
市町村	海老名市	勝瀬保育園	25	35	0	60	変更なし
市町村	海老名市	上河内保育園	37	83	0	120	定員増
社会福祉法人	妙常会	たちばな保育園	51	69	0	120	変更なし
一般財団法人	春秋会	さがみ愛子園	30	90	0	120	変更なし
一般財団法人	春秋会	ふたば愛子園	45	135	0	180	変更なし
社会福祉法人	寿会	つちのこ保育園	30	30	0	60	変更なし
社会福祉法人	ケアネット	保育所すこやかハウス	30	30	0	60	変更なし
社会福祉法人	あゆみ会	かしわ台あおぞら保育園	27	33	0	60	変更なし
社会福祉法人	慶泉会	さくらい保育園	24	36	0	60	変更なし
社会福祉法人	スプラウトユニティー	虹の子保育園	29	31	0	60	変更なし
社会福祉法人	スプラウトユニティー	虹の子保育園分園	12	18	0	30	変更なし
社会福祉法人	青い草の会	にんじん村保育園	27	33	0	60	変更なし
株式会社	木下の保育	小田急ムック海老名園	22	28	0	50	変更なし
株式会社	ステーション	社家ゆめいろ保育園	36	54	0	90	定員増
社会福祉法人	プレマ会	えびなの風保育園	48	72	0	120	変更なし
株式会社	カスタムメディカル研究所	おひさま保育園	24	36	0	60	新設
特定保育施設 計			668	1,112	0	1,780	
特定教育施設							
個人	鍵渡 嘉正	海老名幼稚園	0	0	350	350	変更なし
個人	鍵渡 嘉正	有鹿幼稚園	0	0	210	210	変更なし
特定教育施設 計			0	0	560	560	
特定地域型保育事業							
小規模保育事業							
個人	木村 伸之	ここここ保育園	19	0	0	19	変更なし
地域型保育事業 計			19	0	0	19	
総計			687	1,112	560	2,359	

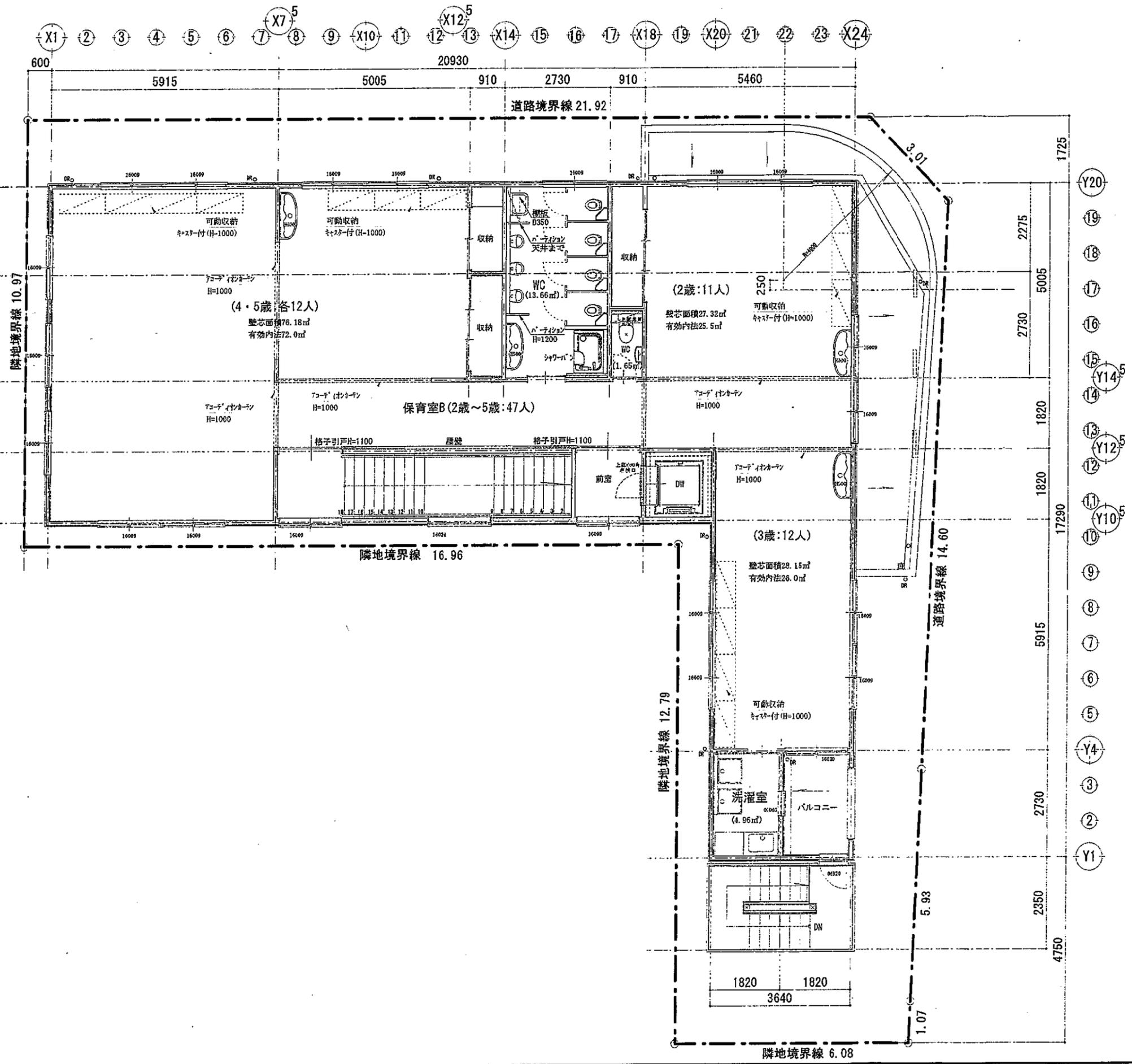
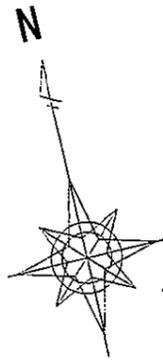
市内保育施設位置図

資料 2 - 3





※保育室以外の面積は壁芯面積とする。



上河内保育園【定員:120名】

資料2-5

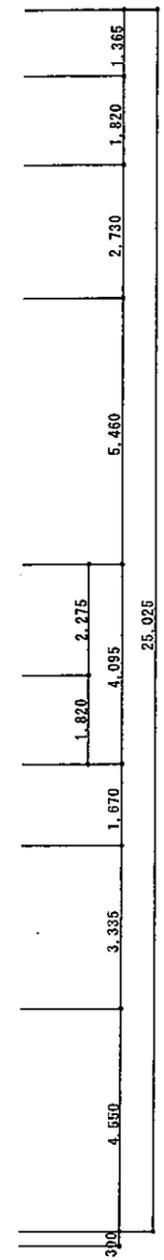
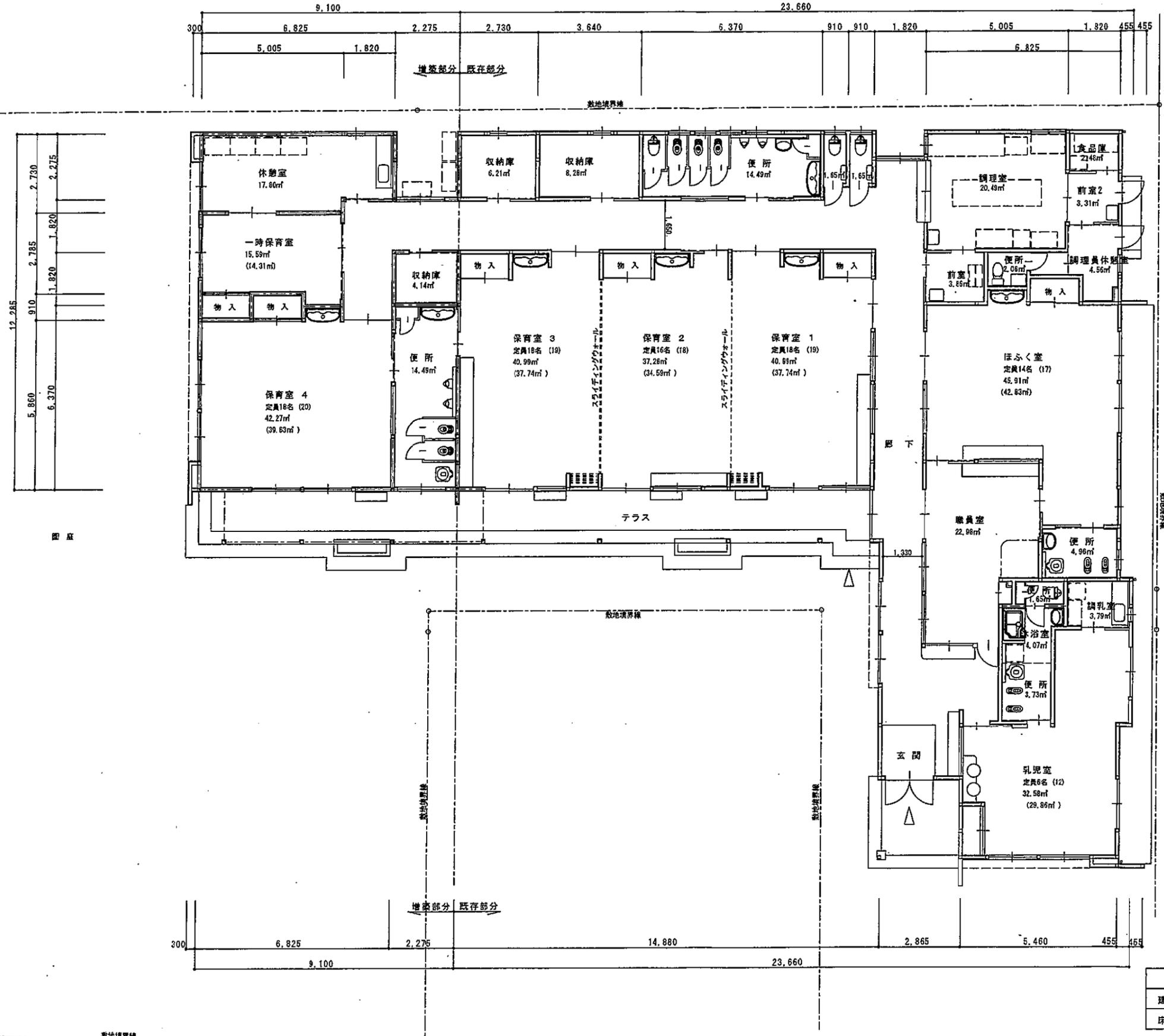
1階

倉庫		調理室		遊戯室		2歳児 定員 22名		3歳児 定員 23名	
休憩室									
園長室			配膳室						
			事務室						
			調乳室	沐浴室	医務室	0歳児 定員 6名		1歳児 定員 9名	

2階			定員 14名		4、5歳児 合同クラス		定員 23名	
					定員 23名			

資料 2-6

社家ゆめいろ保育園
図面



	既存部分		増築部分		合計	
建築面積	437.06㎡	131.94坪	128.02㎡	38.64坪	565.08㎡	170.58坪
床面積	384.51㎡	116.08坪	106.61㎡	32.18坪	491.12㎡	148.26坪

(仮称) 子育て応援宣言の制定について

1 経緯

海老名市では、子育て世帯にやさしいまちづくりを進めることで、子育て世帯の定住を促進し、活気ある持続可能な都市経営を目指しています。

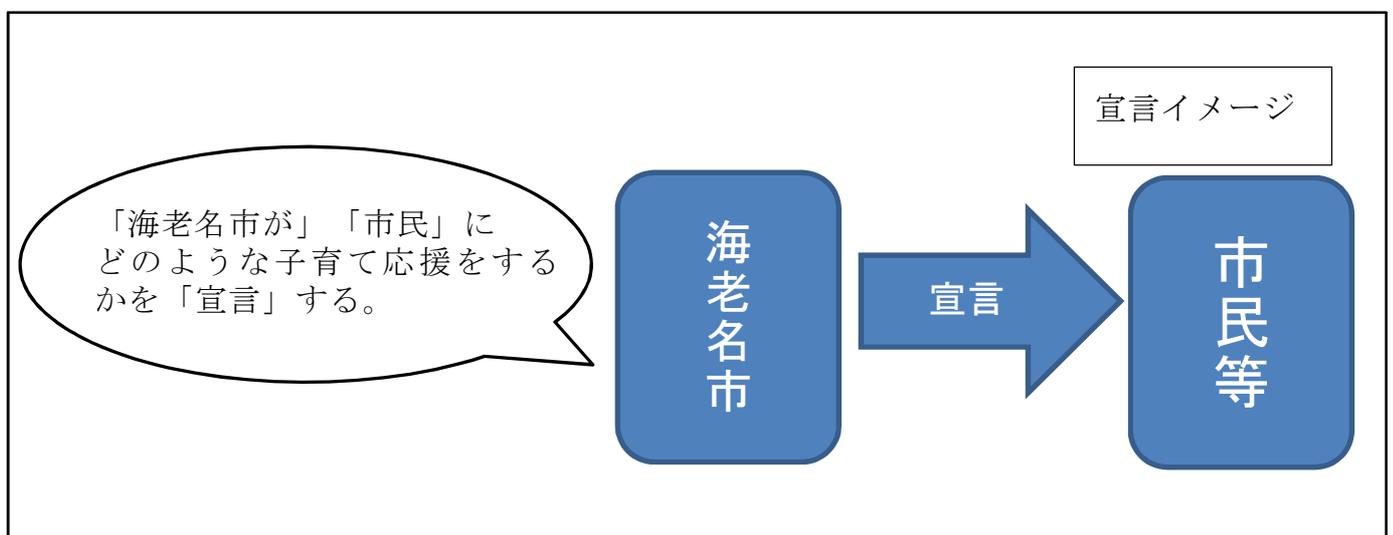
今後の海老名市の子育て支援施策をまとめた「子ども・子育て支援事業計画」の中では、「子ども・子育てに対する市民の意識醸成」の一環として、「子ども憲章の制定」に取り組むよう定めていました。

2 概要

「憲章」とは「重要で根本的なことを定めた取り決め」のことです。その中では、市、子ども、保護者それぞれどうあるべきかを文言化し、その理念を示すこととなります。

憲章の策定について検討する中で、このように3者がどうあるべきかを定めるよりも、より具体的な施策に結び付けるため、市として何をしていくべきかを打ち出し、「宣言」することとなりました。そして、これら子育てに関する市のこれからの取組を「子育て応援宣言」として広くPRしていくこととしました。

この宣言は、市の子育てに関する決意表明と考えております。この宣言の内容に対し、現に子育て中のみなさまのご意見を伺うため、アンケートを実施するとともに、子ども・子育て会議の御意見を伺いながら、策定を進めていきたいと考えております。



3 策定方法

素案については、子育て世代の意見を伺うため、アンケートをもとに策定します。アンケートについては、次の要領で実施しました。

(仮) 子育て応援宣言に向けてのアンケート

実施時期：平成27年11月24日～12月7日

対象者：市内全小学校から2クラスずつ（計26学級）、全中学校から3クラスずつ（計18学級）、幼稚園2園の全児童、保育園6園の全児童の保護者

集計後、事務局において素案を策定し、子ども・子育て会議の御意見を伺いたいと考えております。

4 今後のスケジュール

平成27年12月～	アンケート集計・素案策定
平成28年5月ごろ	子ども・子育て会議にて素案審議
平成28年7月ごろ	案についてパブリック・コメント実施 子ども・子育て会議にて審議
平成28年8月ごろ	最高経営会議（市の意思決定機関）にて審議
平成28年11月	市制施行45周年記念式典で発表

保護者 各 位

(仮) 子育て応援宣言に向けてのアンケート

- ◆ 海老名市の「(仮) 子育て応援宣言」の策定にあたり、保護者のみなさまのご意見をお願いします。

海老名市では、子育て世帯にやさしいまちづくりを進めることで、子育て世帯の定住を促進し、活気ある持続可能な都市経営を目指しています。

今回、これら子育てに関する市のこれからの取組を「(仮) 子育て応援宣言」として広くPRしていくことといたしました。

この宣言は、市の子育てに関する決意表明と考えております。この宣言の内容に対し、現に子育て中のみなさまのご意見を伺うこととしましたので、ご協力をお願いします。

- 1 「(仮) 子育て応援宣言」に盛り込むべき内容について、共感するものに○印をお願いします。(複数回答可)

- ア 子どもを産み育てやすい環境
- イ 安心して子育てができる
- ウ 複数の世代がともに暮らせる
- エ 元気で丈夫な子ども
- オ 子どもたちが夢や希望を持てる
- カ 子どもたちの笑顔があふれる
- キ 子どもたちが落ち着いて学べる
- ク 子どもたちが安全に育つ
- ケ 地域が協力して子育てを応援
- コ 生涯を暮らしたくなるようなまち
- サ この宣言を市外にPR
- シ その他 ()

2 海老名市の子育て支援施策のうち、満足している分野、不満に思っている分野についてそれぞれ2つずつ挙げてください。

- ア 学校教育施設（小学校・中学校の施設環境など）
- イ 学校教育内容（小学校・中学校の教育内容、質など）
- ウ 幼稚園の施設（幼稚園の施設環境など）
- エ 保育園の施設（保育園の施設環境など）
- オ 幼稚園の教育内容（幼稚園の教育内容、質など）
- カ 保育園の保育内容（保育園の保育内容、質など）
- キ 親子とも健やかに過ごせる環境（検診・養育相談・子育て支援センターなど）
- ク 放課後の居場所（あそびっ子クラブ・学童保育など）
- ケ 子ども医療（急患対応・医療費助成など）
- コ 子どもの体力づくり（スポーツ施設・公園など）
- サ 子どもの安心・安全（学校パトロール・不審者対応・通学路など）

満足している分野（ ） 不満に思っている分野（ ）

3 その他、「（仮）子育て応援宣言」に関しご意見があれば自由にお願いします。

ご協力ありがとうございました。

12月7日（月）までに（クラス担任・園）に提出をお願いします。

問い合わせ先：海老名市役所子育て支援課保育係（電話 046-235-4824）